

水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.13

令和3年8月16日発行
上下水道管理課
☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業の経営状況について見ていきます。

市町村合併から今の料金体系になるまで



津市の水道料金は、平成18年1月の市町村合併の際に、10市町村の中で最も低額であった旧津市の料金体系を採用したんだ。その後、実質的な料金改定を1度だけ行い、今の料金体系になっているんだよ。

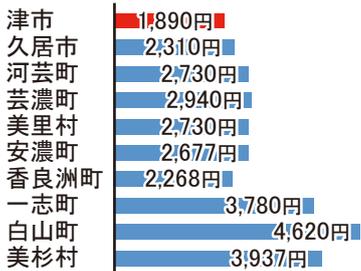


1番安い旧津市の料金体系を選択したのに、料金改定は1度だけで10年以上も経営を維持してがんばってきたんだね。



そうなんだ。これまで水道料金を安く維持してきたから、県内14市では3番目に低額なんだよ。だけど、これからは人口減少による料金収入の減少も予測されるから、これまでのように低料金を維持することが難しくなってきたんだよ。

合併前の各市町村の料金体系



(税込み、口径13mm、1カ月で20㎡使用の場合)

今の料金体系になるまで

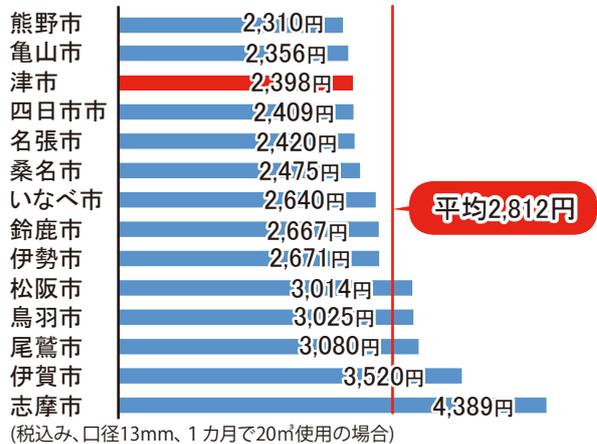
平成18年1月
最も低額であった旧津市の料金体系を採用

↓

平成20年4月
平均19.67%増額改定

※消費税等相当額は平成26年4月と令和元年10月に改定

三重県下14市の水道料金(令和3年4月1日現在)



経営改善・経営努力



市内には、水道管(約2,500km)や浄水場などたくさんの水道施設があるんだけど、壊れないように維持管理をしていかないといけないよね。市町村合併後も水道施設は増えているけれど、さまざまな経営改善や経営努力で、維持管理にかかる費用を合併時とほぼ同じ金額に抑えてきたんだよ。



いろいろな工夫をして経営してきたんだね。このまま経営を続けていけるの？



老朽化した水道管による漏水や水の濁りが増えてきていて、これらは利用者の皆さんに迷惑を掛けるだけでなく、作った水を無駄にすることになるから、経営面でも深刻な問題なんだ。今後は高度経済成長期に整備された水道管や浄水場など水道施設の老朽化が一斉に進行してくるから、これまでのように経営改善や経営努力を続けていても支出を抑え

ることが難しくなってくるんだ。

主な経営改善・経営努力

